

広げよう夢、伝えよう私たちの心、あなたの声を県政へ

ひょうご

県議会だより

No.
100
Jan.2014

第320回 定例兵庫県議会 審議日程 平成25年 12/3~12/13(会期11日間)

12/ 本会議(開会)

3火

●議案上程
●知事提案説明等

12/ 本会議

6金

●追加議案上程 ●代表質問
(3人)
●知事提案説明

12/ 本会議

9月

●一般質問
(6人)

12/ 本会議

10火

●一般質問
(6人)

12/ 常任委員会

11水

●付託議案審査

12/ 本会議(閉会)

13金

●委員長報告 ●追加議案上程
●討論、表決 ●知事提案説明等

地方税財源の確保・充実等を求める意見書案などが可決されました。



知事提案説明の様式

12月定例県議会の概要

知事提案説明

12月3日の開会日には、条例改正などの議案が上程され、井戸知事が提案説明を行いました。

この中で知事は、行財政構造改革の取組として、選択と集中の徹底を基本とした施策の見直しをはじめ、中核市への移行等を踏まえた県民局の統合再編、社会基盤整備における災害や老朽化対策等への重点化、果たすべき役割を踏まえた公営企業や公社等の見直し、長期保有土地の計画的な処理の推進など、行財政全般にわたり一層の見直しに取り組むことを表明しました。

また、新年度の予算編成にあたっては、地方財政対策、国の制度改正や予算編成の動向を十分見極めながら、今年度中に策定する第3次行革プランの基本方向を踏まえ、改革の取組を着実に進めるとともに、選択と集中を一層徹底し、新たな課題に適應して安全で安心なふるさと兵庫、「創造と共生の舞台・兵庫」の実現に資する施策への重点化を図っていくと述べました。

代表・一般質問

6日の本会議では、自由民主党、民主党・県民連合、公明党・県民会議の各会派を代表して3人の議員が質問を行いました。

9日と10日には、それぞれの立場から12人の議員が一般質問を行いました。

各議員からは、平成26年度当初予算編成や第3次行革プランの策定、子ども子育て支援対策や雇用・就労対策、教育改革に向けた取組やスーカ対策など、広範囲にわたる県政の課題や施策について質問が行われました。(→代表質問、一般質問の概要は、2・3面参照)



↑「北野の街角」(神戸市 北野坂付近) 苧玉 紀夫さん(姫路市在住)の作品 第28回 鈴懸の径絵画展受賞作品より 主催:(公財)兵庫県芸術文化協会

常任委員会を開催

11日には、常任委員会を開催し、本会議から付託された議案や請願について様々な視点から県当局へ質疑を行い、詳しく審査しました。

議案などを可決

最終日の13日には、各常任委員会での審査結果を委員長から報告した後、討論、表決を行いました。この定例県議会では、「中国による防空識別圏

設定に抗議する決議」など、計26件の議案を可決したほか、4件の請願を採択し、閉会しました。(→4面参照)

大阪湾岸道路西伸部について

自由民主党 谷口 俊介

大阪湾岸道路は六甲アイランドを境に西方面は慢性的渋滞が問題である。西伸部の事業化は神戸のみならず国全体に大きな経済効果をもたらすが、早期着工に向け一向に決まらない整備手法を県はどう考えているのか伺う。

神戸市の負担軽減のための提案や国に要望も行っているが、着工に至らない一番の問題は事業主体が国か阪神高速かが決まらないことで、決定に向けた協議を進めたい。建設方法も早く決める必要があり、湾岸道路とハーバーハイウェイを二車線でつなぐことも提案している。

- その他の主な質問項目
- 神戸空港について
 - 県営住宅における住み替え政策等

貧困家庭の子どもへの学習支援

民主党・県民連合 盛 耕三

生活保護世帯をはじめとする貧困家庭の子どもたちが、自立して生きていく基礎となる教育を身につけるためには、学校での個別指導や補充学習等の取り組みだけでなく、学校外における学習支援が必要と考えるがどうか。

県では、NPO法人に委託し実施している生活保護世帯の小学4年から中学3年の子どもを対象とする学習支援を、今後は教育委員会と連携し、全ての健康福祉事務所での実施と生活困窮世帯への拡大を検討する。高校生への学習支援は、実態を把握し対応を検討したい。

- その他の主な質問項目
- 小児の重篤患者に対する適切な医療の提供
 - 家庭的保育の推進

県議会ホームページでは最新情報や過去の議会中継などもご覧になれます

<http://www.hyogokengikai.jp/>

兵庫県議会

検索

県内過疎地域における医師不足対策への取組

自由民主党 安福 英則

朝来市も含む県内過疎地域病院における医師不足への対応、医療人材の確保を核とした県内医師配置など、県地域医療支援センターや神戸大学による地域医療活性化センターの今後の取り組みについて伺う。

県は、豊岡病院組合とともに関連大学等で協議を開始している。また、新年度設置の地域医療支援センターにおいて、医師不足病院を支援していくとともに、地域医療活性化センターと連携した人材養成事業により、朝来医療センターへの医師派遣に努めていく。

- その他の主な質問項目
- 市町合併の総括検証と今後の展望
 - 白バイ・パトカーなどの緊急車両訓練施設の確保

全新生児への聴覚スクリーニング検査の実施

公明党・県民会議 島山 清史

聴覚障害は、早期発見と適切な支援によって、言語の発達等への影響が最小限に抑えられることから、新生児段階での聴覚検査の実施は重要である。県下全ての新生児に対する聴覚スクリーニング検査の実施に向けた県の所見を伺う。

市町と連携し、検査導入に向けて未実施機関へ働きかけるとともに、分娩を伴う全県立病院で検査が可能となるよう準備を進める。また、医師等を対象に検査手法やその後の治療等の研修を実施するほか産科等へのマニュアル配布などにより、県下全域での検査体制の充実を図りたい。

- その他の主な質問項目
- クリエイティブ産業の育成支援
 - 産後ケア体制の充実に向けた取り組み

代表質問

行財政構造改革の推進

自由民主党

黒川 治

第3次行革プラン企画部会案で示された財政フレーム、県民局の統合再編、公社・外郭団体、福祉医療等について指摘した自民党議員団の申し入れを踏まえ、兵庫の自立、兵庫の未来と盤石な行財政基盤を確立するために、どのような方針で行財政構造改革に取り組むのか知事の考え方と決意を伺う。

財政フレームは国の見直しや税収に合わせ弾力的に対応する。県民局は中核市への移行等を踏まえ統合再編し、公社等は経営改善などを行い成果を検証した上で、あり方を検討する。事務事業は市町・民間との役割分担等の観点から見直しを進める。兵庫の未来を拓くには、持続可能な行財政構造が欠かせない。その確かな道筋をつけるべく改革に取り組んでいく。

- その他の主な質問項目
- 少子対策の推進
 - 今後の社会基盤整備のあり方
 - 第2期「ひょうご教育創造プラン」の推進

安全・安心が確保された農畜水産物のブランドイメージ向上

民主党・県民連合

大塚 たかひろ

食の安全・安心をより一層確保するためには、生産者等において自らチェック機能を強化すべきであるが、全国的にも有名な農畜水産物を数多く有する本県にとつて、食の安全・安心を確保したブランドイメージをさらに向上していくために、どのように取り組んでいくのか所見を伺う。

農産物の残留農薬検査、加工食品の原材料の生産地などの安全性を確認したものを認証するひょうご食品認証制度により、県産品に対する消費者の安全・安心の確保を図っている。今後県内外で行う県産品プロモーションにおいても、今まで以上に認証食品の積極的なPRを行い、本県のブランド産品をはじめ県産農畜水産物のイメージ向上を図っていく。

- その他の主な質問項目
- 第3次行革プランの策定に向けて
 - 市町における地域包括ケアシステムの構築に対する支援
 - 県内各地域への海外誘客の促進

法人県民税超過課税(第8期)の実績と今後の見通し

公明党・県民会議

北条 やすつぐ

平成21年から適用されている第8期の法人県民税超過課税による税収は「子育てと仕事の両立支援」や「子育て世帯への支援」施策に充てられている。勤労者福祉の向上に資する貴重な財源であり、法人の理解を得て来年の最終期の継続を望む。今期実績への評価と次期への見通しを伺う。

平成21年から適用されている第8期の法人県民税超過課税による税収は「子育てと仕事の両立支援」や「子育て世帯への支援」施策に充てられている。勤労者福祉の向上に資する貴重な財源であり、法人の理解を得て来年の最終期の継続を望む。今期実績への評価と次期への見通しを伺う。

納税者の理解を得つつ延長について検討していきたい。

- その他の主な質問項目
- 災害時の適切な避難対策の強化
 - がん検診受診率向上対策
 - ストーカー対策

グリーンピア三木のあり方

自由民主党 仲田 一彦

年間約28万人の利用者があるグリーンピア三木の民間事業者との賃貸借契約期間が平成27年に終了する。地域の活性化に向けて、当施設をまちづくりの拠点として育てていくための今後の活用方針について伺う。

グリーンピア三木が三木市のまちづくりや誘客促進の核となるように、宿泊機能の確保を前提に、民間活力を活用した企画提案コンペを行いたいと考えている。学識者等による選考委員会で審査し、貸付期間が満了する半年から1年前を目途に、活用方針を決定する予定である。

その他の主な
質問項目

- 県立三木総合防災公園のさらなる活用促進
- 「ゴルフ」を活かした誘客促進

兵庫芸術文化センター管弦楽団の 地域に根ざした展開

公明党・県民会議 下地 光次

世界的な指揮者である芸術監督・佐渡 裕氏が率いるユニークなオーケストラが誕生して8年が経過した。これまでの実績をふまえ、より地域に根ざした展開や、自主財源確保のための取組について、所見を伺う。

県内の全中学1年生約5万人に鑑賞機会を提供するほか、少人数編成による演奏会などを実施している。入場料収入以外の自主財源として国の助成金、企業協賛金等を獲得しているが、更に努力したい。県民に愛される楽団をめざし、その魅力をアピールしていく。

その他の主な
質問項目

- パナソニック尼崎工場の事業中止への対応
- 教育改革への取組

宝塚の文化を守り 発展させる取り組み

日本共産党 ねりき 恵子

宝塚文化の歴史を守り、今後のまちづくりに生かすため、宝塚ガーデンフィールズ閉園後も植物園を残し、周辺の文化施設と一体的に県民の貴重な文化・観光資源として活用しようとする宝塚市や市民の取組を支援すべきと考えるがどうか。

県としても、宝塚市の事業計画が国の都市再生整備計画事業に位置づけられ、交付金の活用が図られるよう協力していく。宝塚市の観光・文化・商業の中心であるこの地域が、今後も地域の活性化に大きな役割を果たしていくよう支援していきたい。

その他の主な
質問項目

- 私立高校の授業料軽減・経常費補助の充実
- パナソニック尼崎工場の撤退問題

土曜授業の実施

自由民主党 上田 良介

学校週5日制で低下した児童生徒の学力は依然戻っていない。ゆとり教育の弊害を是正するため、学校、家庭、地域が一体となって土曜授業を実施し、補習、道徳、地域文化を学ぶ授業を行うべきであるが、県の対応方針を伺う。

土曜授業の導入については、地域の教育活動、教員の勤務体制の調整等について十分検討が必要である。文部科学省が来年度から実施する土曜日における効果的なカリキュラム開発等のモデル事業を活用しながら、土曜教育のあり方について研究し、充実をめざす。

その他の主な
質問項目

- 兵庫県但馬沖におけるメタンハイドレートの開発
- 山林の地籍調査の推進

第320回 定例兵庫県議会 一般質問

高速道路の スマートインターチェンジ

無所属 三戸 政和

山陽自動車道の権現湖パーキングエリアにおけるスマートインターチェンジの設置について、整備が容易で加古川バイパスの渋滞緩和につながるなど事業の費用対効果も高く、重点箇所として積極的に整備を推進すべきと考えるがどうか。

スマートインターの整備は地元市町が主体的に取り組むべきものだが、加古川市がハイウェイオアシス事業を優先する意向のため、今は具体的な整備の動きはない。市から要請があれば、事業化の可能性等の調査・検討に対し、県下の事例も踏まえて助言するなど協力していきたい。

その他の主な
質問項目

- 県特別職や外郭団体の経営層への民間人の登用
- 西宮土木事務所の不祥事を踏まえた総合評価落札方式の問題点の見直し

高齢者の安全運転対策

自由民主党 藤田 孝夫

高齢運転者による事故を減らすには、免許証の返納だけでは十分ではない。また、中山間部の高齢者には日常生活に車が不可欠な場合も多い。高齢者の自立的な運転を可能としつつ、事故を起こさないための方法をどう考えているか。

高齢運転者が当事者となる事故は増加傾向にある。県警察では、高齢運転者に対する講習など、より安全に運転できるよう取組を進めている。引き続き、啓発活動や交通安全教室への参加を促すとともに、標識の大型化など高齢者の安全運転にも配慮した道路交通環境を整備していく。

その他の主な
質問項目

- 県民緑税の今後の方向性
- 兵庫の将来像、県民への期待

問題踏切対策による 危険箇所解消の推進

自由民主党 幣原 みや

芦屋市の阪神電鉄打出南宮町踏切は、ピーク時に踏切待ちの車両が近接する交差点にまではみ出す問題踏切の一つである。こうした問題踏切に対するこれまでの県の取り組みと、渋滞緩和や事故防止の観点からみた今後の対策を伺う。

鉄道高架事業等で踏切を98箇所除却した。今後は、渋滞対策に閉じ込め事故対策を加えた新たな踏切すっきりプランとして、26年度から5か年間で問題踏切半減を目指す。打出南宮町の踏切については、市に対し、踏切前後のカラー舗装等の安全対策を強く求めていく。

その他の主な
質問項目

- 県立学校の空調整備の推進
- 道路交通法改正内容を周知するための取組

円卓会議を活用した 障がい者雇用・就労の促進

民主党・県民連合 掛水 すみえ

障がい者雇用が進んでいないのは、関係者とのコミュニケーション不足によるところが大きい。民間団体や企業・市民で構成する円卓会議を活用し、広く実態を聞き、現状を理解しながら、施策に反映させていくべきであるが、現状認識を伺う。

雇用障害者数は着実に増加しているが、約半数の企業が改正後の法定雇用率に届いていない。県民・企業・関係団体との協働を密にしながら、きめ細かな雇用・就労支援に取り組み、障害者が職業を通じ、誇りを持って自立した生活を送ることができるよう努めていく。

その他の主な
質問項目

- 地域で担う生活困窮者への支援
- ピア・サポートについて

広告欄のため不掲載

条 例

次の5件の条例案を可決しました。

- 税外徴収金の延滞金の徴収に関する条例の一部を改正する条例
地方税法の一部改正により、地方税に係る延滞金の割合が見直されることに伴い、使用料、手数料等の税外徴収金の延滞金割合の特例について改正を行うもの。
- 障害者自立支援特別対策事業基金条例の一部を改正する等の条例
- 河川の流水占用料等の徴収等に関する条例の一部を改正する条例
- 屋外広告物条例の一部を改正する条例
屋外広告物行政の一層の推進を図るため、屋外広告物法の規定に基づき、屋外広告物の規則に係る条例の制定又は改廃に関する事務の処理を関係市町が行うことができるようにしたことに伴い改正を行うもの。
- 職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例
職員の給与等に関する報告並びに国及び他の地方公共団体の職員の給与等との均衡を考慮し、職員の昇給制度の見直しなどを行うもの。

他の議決案件

計13件の案件を可決しました。主なものは次のとおりです。

- 社会福祉法人に関する事務の受託の廃止に関する協議
社会福祉法人に係る設立及び合併の認可、指導監督等の事務について、事務執行体制の整備が整う宝塚市において、その受託を廃止するもの。
- 阪神高速道路株式会社が行う兵庫県道高速大阪池田線等の事業の変更についての同意
- 一般国道178号浜坂道路久谷第1トンネル工事請負契約の締結
- 公の施設の指定管理者の指定(兵庫県営住宅西区・明舞地区(神戸市西区・垂水区・明石市))

意見書・決議

次の8件の意見書案・決議案を可決し、関係省庁等に送付しました

- 地方税財源の確保・充実等を求める意見書
- 食材の虚偽表示の再発防止に向けた食品等の表示対策の強化を求める意見書
- 阪神・淡路大震災被災団体の厳しい財政状況を踏まえた財政支援を求める意見書
- 奨学金制度の充実を求める意見書
- 介護職員の処遇改善を求める意見書
- 公共工事の入札不調を解消するための環境整備を求める意見書
- 無期労働契約への転換など改正労働契約法の趣旨の徹底に向けた対策を求める意見書
- 中国による防空識別圏設定に抗議する決議

請 願

意見書提出を求める計4件の請願を採択しました。

※可決した意見書や請願の詳細はホームページをご覧ください。

各議案等に対する会派等の賛否をホームページで公表しています。県議会トップページから「議案等に対する会派態度」をご覧ください。

今回の定例県議会で可決した主な議案など

Topics

議会トピックス

13都道府県議会 議長会議が 開催されました



13都道府県が一堂一丸に

北海道、宮城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、愛知県、京都府、大阪府、広島県、福岡県、兵庫県

第219回13都道府県議会議長会議が兵庫県で開催されました。この会議は、大都市を抱える13都道府県の正副議長が一堂に会し、共通の政策課題の解決のため、一丸となって国への要望活動を展開するために開催されています。

会議では、各都道府県から一つずつ議案を提出し(兵庫県議会→「消費税率引き上げに伴う地方財政への適切な対応について」)、審議を行い、テーマごとに11件にまとめて採択されました。採択された要望は国に提出されます。(H25.11.18)

議会の基本的なくみや用語を解説します
教えて! 県議会

“一問一答方式”って何?

A. 本会議における「質問」とは、議会に提出された議案や県政全般について、知事などの執行機関に現状や考え方を問

いたすことで、「一問一答方式」は質問を行う方式の一つです。

平成24年6月定例会より、これまでの、質問を全てまとめて行い、まとめて答弁する「一括方式」に加え、一問ごとに質問と答弁を交互に行う「一問一答方式」、複数の質問をまとめて行い、その質問に対する答弁を行う手順を繰り返す「分割方式」のいずれかから、質問する議員が選択できるようになりました。県議会では、傍聴者など県民の皆さんにも議論の内容がよりわかりやすくなるよう、引き続き取り組みを進めていきます。

議場コンサートのご案内

県民に親しまれ開かれた県議会をめざし、2月定例県議会開会日に、本会議に先立ち兵庫芸術文化センター管弦楽団による議場コンサートを開催します。

- 日時…平成26年2月18日(火)
午前10時～10時30分
- 会場…兵庫県議会本会議場
- 入場料…無料
- 定員…200名
(申込者多数の場合は抽選)



■応募方法…**往復はがき**に①住所 ②氏名 ③年齢 ④申込(代表)者の連絡先電話番号をご記入の上お申し込みください(1通のはがきで2名まで申し込みできます。同伴の方の住所、氏名、年齢もご記入ください)。返信用はがきの表には、申込(代表)者の住所・氏名を記入し、裏には何も記入しないでください。

※小学生以下の児童、乳幼児は入場できません。

※入場の可否が記載された返信用はがきを2月7日(金)頃に発送予定です。

【応募締切】

平成26年2月3日(月)必着

お申し込み・お問い合わせ先 〒650-8567(住所記入不要) 兵庫県議会事務局総務課 管理係 ☎(078) 341-7711(内線5030)

県議会プレゼントクイズ

兵庫県で第1回県議会が開かれたのは明治12年(1879)5月。県会議事堂はまだ建設されておらず、真宗本願寺説教所(現・光尊寺→神戸市中央区山本通)を仮議場として開催されました…

では、平成25年12月3日から開催された定例県議会は、第〇〇〇回目の定例県議会だったでしょうか?

ア…第100回
イ…第320回
ウ…第500回

正解者の中から抽選で、兵庫県立美術館(神戸市中央区)で開催される特別展『フルーツ・オブ・パッション ポンビドゥー・センター・コレクション』(1/18～3/23)のペア招待券とふるさとひょうご特産品(おかきなどの詰め合わせ)をセットにして10名の方々にプレゼントいたします。

はがきにクイズの答え、〒住所、氏名、電話番号、「県議会だより」についての感想を記入の上ご応募ください。応募締切：H26年2月7日(金)消印有効

〒650-8567(住所記入不要) 兵庫県議会事務局調査課

兵庫県議会ホームページからも応募できます

※賞品の発送をもって当選発表と代えさせていただきます。
※お預かりした個人情報は賞品の抽選及び発送以外の目的には使用いたしません。



2月定例県議会の開催日程 会期:2月18日(火)～3月24日(月)

◎代表質問:2月24日(月) ◎一般質問:2月25日(火)～27日(木)

県議会ホームページでは最新情報や過去の議会中継などもご覧になれます

兵庫県議会

検索

<http://www.hyogokengikai.jp/>

広告欄のため不掲載